



「厚生労働大臣表彰奨励賞」受賞

この度、厚生労働省が新たに創設された「介護職員の働きやすい職場環境づくり表彰」において、弊社事業所「デイサービスセンターべるふらっと」が「厚生労働大臣表彰奨励賞」をいただきました。

この表彰は職員の待遇改善、人材育成及び介護現場の生産性向上への取組が優れた介護事業者への表彰を通じた好事例の普及を図ることを目的に創設された制度です。今年度の新設され、全国で60事業所が受賞し、滋賀県では弊社を含めた2事業所が受賞しています。

弊社としては、会社法人全体での取組でもありません「多様な働き方と人材育成制度への取り組み」を評価いただきました。



【多様な働き方】

社員ひとり一人の声を聞くために、アンケートや法人代表および管理者による面談を実施するとともに、抽出した課題を解決するプロジェクト委員会を立ち上げ。調査結果や委員会での検討をもとに、小学校就学期まで延長可能な育児短時間勤務制度の推奨や年間休日（有給休暇含まず）の110日から124日への増加、GW、夏季休暇、年末年始における連続5日の休暇制度を導入したことで、15年間で有給休暇消化率は43%から84%（2021年度平均取得日数:14.4日）へ上昇、職員の離職率は15年間で49%から7%まで減少している。時間外労働時間は14.7時間から3.3時間（2021年度月平均時間）に減少した。

【人材育成制度の確立】

社員のスキルアップを目的に、年間計画に基づいた職員研修の開催（月1回程度）や、介護福祉士や介護支援専門員受験対策講座を毎週開催。特に資格取得にあたっては市販の参考書の無料配布や、資格取得後には必要な研修等を自己負担なく受講できる制度を確立している。

今後もより働きやすい職場環境づくりに努め、利用者様により良いサービスを提供できるよう努力を続けて参ります。

9月19日に伝達式および副知事への表敬訪問が行われ、今回の取組や表敬訪問等の様子について扱ったパネル展が9月22日～10月31日の期間、滋賀県庁（新館本館3階渡り廊下）にて開催されています。



【参考】滋賀県HP

令和5年度介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰奨励賞について
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuhukushi/koureisya/333632.html>

敬老会

9月18日から5日間敬老会を開催しました。

昼食とおやつは共に日替わりで松花堂弁当、ケーキや彦根銘菓の「埋もれ木」をお出しして、ご長寿のお祝いをさせていただきました。

これからもお元気でべるふらっとをご利用くださる事を願っています。



BLOG

リハビリ専門職大学の 実習生

びわこリハビリテーション専門職大学1, 2年の学生さんが実習に来られました。

意欲的に活動・機能訓練を取り組んでおられる利用者様と関わることで多くの学びを得ていただいた様です。将来の医療・福祉を支える専門職として活躍される事を期待しています。



脳トレ王

実際伸ばしたい能力（集中力・計算力・記憶力）に合わせたプリントに多くの方がチャレンジしてくださいました。

答えから飛躍して話題が広がり、ご利用者様同士の良い交流の時間ともなりました。



月刊 甲良町デイサービスセンターかつらぎ

敬老会

9月18日～21日までの間は敬老週間とし、美味しいご馳走と、ゲーム大会でお祝いさせていただきました。



BLOG



卒寿と白寿を迎えられる4名の方に感謝状をおくり、その他の方には手作りカードをプレゼントしました。卒寿を迎えられた方は「元気で暮らす為にはくよくよしない事です。笑って過ごしましょう」と元気の秘訣を教えてくださいました。



今年の記念品の「手形×花アート」は大好評です。できあがった作品に手を重ね「間違いない僕の手や」と確かめられると大笑いがおきました。



避難訓練



甲良町子育て支援、地域支援、デイサービスセンターかつらぎでの3施設合同の避難訓練を行いました。当日は消防署の方の指導の後、消火訓練にも参加しました。「訓練とわかっていても慌てるのよ」最後は無事全員避難できました。



鈴の音時間

園芸

濡れ縁に咲いているお花や朝顔、グリーンカーテンもみなさんに水やりをしていただき立派に成長しています。



フウセンカズラは種も収穫でき「来年植えるのが楽しみやな」と笑顔でお話されていました。



夏祭り

8月下旬に夏祭りを行いました。金魚すくいや千本釣り、波のリゲームをしたあとはおやつにかき氷をいただきました。最後はみなさんで江州音頭を踊りました。「昔は太鼓を囲って踊った！」など楽しまれていた様子でした。



BLOG



敬老週間

日頃の感謝の気持ちも込めてお祝い膳をいただきお祝いしました。また神社にお参りへ行き健康長寿を祈願しました。「久しぶりにお参りに来れてよかった」とよい気分転換にもなり喜ばれていた様子でした。



制作活動

今月は鶴と亀の壁面飾りや、秋刀魚のカレンダーを作りました。「美味しそうなさんまやな」とみなさんおひとりおひとりのオリジナルの素敵なカレンダーが完成しました。



グループホーム鈴の家日和

夏祭り

みなさんが待ちに待った夏祭りの日がやってきました。

ランチには屋台風にしたてのフランクフルトやたこ焼き、そばめしをいただきました。お祭り気分でお箸もすすみます。

昼からは法被や浴衣に着替えて、お祭り本番！縁日ゲームや盆踊りをみんなで楽しみました。



盛りだくさんのイベントが繰り広げられ、今年の暑い夏に負けない熱いお祭りとなりました。



BLOG

合同お誕生日会 ～ハッピーバースデー！～

同じ月にお誕生日を迎えられた方が3名おられ、合同誕生会を開催しました。

当日のスペシャルメニューは焼肉！ホットプレートで囲んで美味しいお肉に舌鼓「やっぱりお肉は美味しいな(-)」

3時にはフルーツを沢山あしらった、見た目もかわいいバースデーケーキでお祝いしました。あらためましてお誕生日おめでとうございます。これからも鈴の家で楽しく元気に過ごしてくださいね。



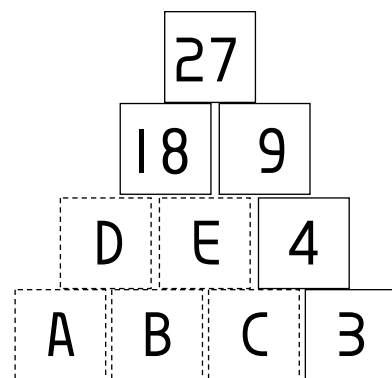
地域支援事業・頭の筋力トレーニング

数字ピラミッド

ルールに従って

A ~ E に数字を入れてください

ルール: 下段の数字を足したら
上の段の数字になるように
例: 18+9(上から2段目)
→27(上から1段目)



☆ 正解は最後のページ下でご確認ください

べるグリーン通信

敬老会

昼食には刺身やちらし寿司の祝い膳で長寿のお祝いをさせていただきました。

ビンゴゲームやバルーンアート等に参加してくださいました。また「箱の中の中身はな～んだ？」では、皆さんのいろいろな表情を楽しみ、バルーンアート作品はプレゼントとして持ち帰っていただきました。



BLOG



さつまいも掘り・つる仕事

秋と言えばさつまいも。苗を植えてから130日を過ぎた頃に収穫していただきました。

「茎の皮むきぐらい簡単や」と言ってくださり、2時間ほどでおよそ1kgの茎があつという間に皮むきされました。

あく抜きをしてから、軽くゆでて冷凍保存しました。



作品作り

コースター作りでは、好きな色・好きな形の石を選び並べていただきました。「センスがいるから難しい」と言われていました。

袋作りでは「どうするのや？こんでいいのか？」等確認しながら、袋を縫い上げていただきました。作品は敬老会の景品として持ち帰っていただきました。





今回は、「要介護認定調査」を受けるときのポイントについてご紹介します。

● 認定の調査内容を知っておきましょう

あらかじめ調査の内容を知り、日頃の状況をまとめておくといでしょう。どのような方法でどの程度自分でできるのか、どのくらいの時間と手間がかかっているのか、その頻度などを具体的に説明できるようにしておきましょう。

概況調査	住まい（在宅・施設）の状況 家族の状況 傷病 既往歴など
基本調査	身体機能・起居動作……麻痺、拘縮、寝返り、起き上がり、座位、立位、歩行、洗身、視力・聴力など 生活機能……着替え、食事、排泄、洗顔など 認知機能……短期記憶、場所の理解など 精神・行動障害……昼夜逆転、ひどいもの忘れなど 社会生活への適応……薬や金銭の管理、簡単な調理など
特別な医療	過去14日間に受けた医療（点滴、透析など）
特記事項	基本調査項目の中で具体的な介護の手間や頻度を明確にするもの

● ご本人の状態をよく知る人が立ち会いましょう

調査時には、普段できないことができてしまったり、できないことを「できる」と言ってしまうことがあります。普段の状況を正確に伝えるために、ご家族などご本人の状態をよく知る人が立ち会いましょう。

特に認知症の方の場合、日によって状態が変わることもありますし、ご家族以外の人（調査員）の前ではしゃんとされて介護の手間がかかっているようには見えないこともあります。ご本人が困っていること、ご家族が困っていることをあらかじめメモに書き出しておくといでしょう。

● 調査の項目によっては場所や方法を変えて伝えましょう

ご本人を前にして話すことが難しい内容や訂正することが必要な場合には、別室などに場所を変えたり、電話・書面など方法を変えたりして、ご本人に配慮しつつも事実を伝えるようにしましょう。

● かかりつけ医に「主治医意見書」作成のための問診票を渡してください

認定調査と並行して、かかりつけ医には市区町村から主治医意見書の作成が依頼されます。「主治医意見書」作成のための問診票をご家族でご記入していただき、早めに主治医にお渡しくださるようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、担当ケアマネジャーにご相談ください。

はい、ヘルパーです！

高齢者の災害対策

台風・大雨・豪雪・地震など、自然災害はいつ訪れるかわかりません。テレビで「高齢者避難指示」や「警戒レベル〇」という言葉を一度は見聞きしたことがあるのではないのでしょうか？自分の地域に避難指示が出たときに慌てるのではなく、いつでも避難できるようにあらかじめの準備をしておくと、余裕を持った安全な避難につながります。

● いきなり大きな荷物を持つのは大変！日常で持ち歩けるポーチから準備を！

- ・ 持病の薬
服用しないと生活に支障をきたす薬は重要度が高いので、1～2日分入れておきましょう
- ・ お薬手帳
薬の名前、量がわからないとどうしようもありません。一目で経過の分かる情報が大切です。
- ・ トロミ剤
内服、水分摂取に必要な人は入れておきましょう。
- ・ 水
とりあえず小さなペットボトルで可。一時的にしのげる分を。
- ・ 成人用おむつ（パット）
強いストレスで排便、排尿コントロールがうまくいなくなる可能性もあるのでと安心です。

非常食や備蓄用の水などの用意はもちろん大切ですが、後から運ぶことも可能です。荷物が重くて避難が遅れることは避けなければなりません。まずは命を守る最低限のものを持ち、素早く安全に避難できる準備をしておきましょう。

公式サイトURL：<https://suzukihealthcare.co.jp>

Mail：info@suzukihealthcare.co.jp



ホームページ
QRコード

Facebook Instagram アップしています

